



(2) 台山古墳

香川県の最西端にある方墳

Q1 台山古墳とは、どんな古墳なの？

A1

5世紀初めごろに豊浜町の台山につくられた古墳です。
古墳は、海を見下ろすことのできる標高40mのところにあります。調査では、一辺約19mの大きさであり、この時期につくられた方墳は香川県内ではあまり例がありません。



Q2 台山古墳からは、どんなものが出てきたの？

A2

円筒埴輪や朝顔形埴輪が出てきています。

この古墳は、丸山古墳や青塚古墳よりも前につくられた古墳であり、観音寺市の古墳文化の発展を知るうえでとても重要な古墳です。



台山古墳からの出土品

コラム ふるさと学芸館へ見学に行こう！

旧紀伊小学校跡地に『ふるさと学芸館』があります。そこには考古ゾーンがあり、古墳から発掘された埴輪や土器、副葬品などがたくさん展示されています。ぜひ、見学に行ってみましょう。

『ふるさと学芸館』
(休館：月曜日)

☎ 0875-24-8123



副葬品の展示



埴輪や土器の展示

